

# 11月号 ぶどう・りんごぐみだより

担任 東 ゆかり 岩永 千景

散歩に出かけると、バッタ、かまきり、きりぎりす、どんぐり、からすうりと子ども達が興味を示すものが自然の中に沢山あります。帰りには『どんぐり持ってきた』『バッタ捕まえた』『からすうり見つけた』と手に素敵な宝物をもっている子ども達です。11月も自然の中に素敵な物を見つけながら、また秋から冬への自然の移り変わりも感じていけたらと思います。

## 11月の行事

- 6日(水) サツマイモ掘り
- 13日(水) 交通訓練
- 14日(木) サツマイモパーティー
- 18日(月) 食育の日
- 20日(水) お弁当の日
- 26日(火) 火災訓練
- 27日(水) お楽しみ会

## 今月の歌

- ・きのこ
- ・みんなでおどろろ
- ・いもほりのうた
- ・もりはいきている
- ・わたしとことりとすずと
- ・星のしっぽ
- ・ことりとぶどう

## 今月の絵本

- ・おおきなおいも
- ・とべバッタ
- ・虫図鑑
- ・サツマイモの図鑑
- ・島ひき鬼のケンムン
- ・ふゆじたくのおみせ
- ・チリとチリリ
- ・わらしべ王子

- \* 歯ブラシの交換をお願いします。新しい歯ブラシに名前を記入し持たせて下さい
- \* 土曜日にお休みを変更される方は、水曜日までにお知らせください
- \* 冷え込んできて、空気も乾燥し始めます。保育園でも、手洗いうがいをもう一度見直し、健康管理をしていきたいと思っておりますのでご家庭でも、この機会に手洗いうがいのご協力をお願いいたします。
- \* 27日(水)はお楽しみ会です。白ご飯はいりません。
- \* 12月 7日(土)は親子餅つき大会です。
- \* 12月14日(土)あさひ保育園説明会です。

## ～11月生まれのお友だち～

### ＜お誕生日おめでとう＞



#### 山田 ほのかさん 11・1生(6歳)ぶどう組

太鼓リーダーを務め、あそび・生活面でもさらに自信がついたほのかさん。誰かが困っていると助けてくれたり、「〇〇と思う」と発言してくれて

います。とても頼りになります。絵を描く事にも磨きがかかり、「もっとしたい」「まだ描きたい」と意欲が高まりました。



#### 油谷 いつかさん 11・24生(6歳)ぶどう組

運動遊具では、出来るようになりたいと、最後まで諦めなかったいつかさん。出来た喜びは自信にもなり、新たな事への挑戦意欲が強くなりました。リーダーに選ばれた時は本当に嬉しそうで、「〇〇しに行こう！」と皆にはっきり聞こえるような声で伝えています。



#### 杉本 のぞみさん 11・3生(5歳)りんご組

お絵かきが大好きなのぞみさん。画面いっぱい大きく、体験した事や自分でこんなことやりたいなとイメージを膨らませて伸び伸びと描いてくれます。折り紙を折る時は真剣な眼差しで、とっても丁寧に折り上げてくれています。



#### 上野 わかなさん 11・6生(5歳)りんご組

お手伝いが大好きなわかなさん。給食前になると、ぶどうさんに交じって、テーブル出しやテーブル拭きを積極的にしてくれます。また「次は、私たちがぶどうさんだから」と小さい弟や妹達のお世話もしっかりとしてくれています。頼りになるお姉さんです。

## ○自然～みんなで稲刈りだ！～



田植えをしてから日に日に大きくなっていくお米。稲が大きくなっていく様子を見たり、周りの田んぼでは稲刈りが始まっていて、「ぼく達のお米も大きくなってね」「いつ稲刈りするの?」「早く稲刈りしたいね」「おいしいかな?」穂先を指差しながら「先生これがお米?」「ちっちゃいのがたくさんついてる」「こんなにいっぱいついて疲れるはずなのに、頑張って立っている!」「お米さん強いね」と実ったお米を見ながら、稲刈りする日を待ちわびていました。

台風の影響を考えて、予定を変更し、子どもたちだけで稲刈りとなりましたが、当日は片手に鎌を持ち、もう片方の手には稲をしっかり握りしめ、鎌を引きながら、一生懸命に刈ってくれました。

最初は、「難しい」「なかなか切れない」と言っていた子ども達も鎌を上手に使いこなせるようになり、今度はどこを刈るのかちゃんと自分たちで考え、どうやったら安全に切れるか、



足の置き場、鎌の使い方を体験することで、学んでいました。前向きにひたすらに刈り進んでいく姿にたくましさを感じました。

自然と、ぶどうのお兄ちゃんお姉ちゃんが刈った稲をりんごさんが受け取り、脱穀機に運んでいくという流れ作業を淡々と凜として



やってくれました。お互いに「〇〇ちゃんハイ」「ハイ任せて!」と声を掛け合いながら運ぶ姿が本当に素敵でした。それぞれに役割を考え作業をする姿に子どもたちの素晴らしい力が育っている事を感じ、とても嬉しくなりました。

## ○お米を食べよう!



子どもたち「いつお米出来るの?」「お米食べたいな」とお米を食べる日をとても楽しみにしていたので、それを聞いた北里さんも、子どもたちの為にとお米を乾燥し、脱穀して持ってきて頂きました。それを知ったぶどう組の子どもたちは「北里さんだ。ありがとうございます。」「僕たちも運びたい」「手伝いたい」と言って動きだしていました。私たちが働きかけなくても、子どもたちは自分たちで考えて行動しようとしていました。そんな姿がとても嬉しかったです。

次の日は、収穫したお米を自分たちで、お米を洗い、弟妹たちを招待し、“お米を食べて力をつけよう”の会を行いました。稲穂から脱穀する時は、「お米がシャラシャラいってお金みたい」「お米のシャワーだ～」ととても驚いていた子どもたち。もみ殻付きのお米→玄米→白米になっていく事をしった子どもたちは、「全然色が違う」「これがお米になるんだ」「こんなに白くなるの～」ととても驚いていました。お米を洗う時もこぼさないように慎重に洗ってくれました。白米が炊きあがり、窯のふたを開けた時は思わず歓声が上がりました。「おー」「いいにおい」「早く食べたいね」とつぶやいていた子どもたちです。お米を食べる時も「おいしい」「甘いね」「お米のお代り下さい」「お米おいしいからたくさん食べたい」「力が付いてきたよね」とたくさんほおばってお代りをしてくれました。





このように運動会に向けて力をつけた子どもたち。弟妹たちも喜んでくれて、とても素敵な会が出来ました。

## ○音楽



運動会に向けて、各クラスの絵本のテーマソングを皆で楽しみました。昨年から引き継いだぶどう組のテーマソング。歌詞の中身は、ぶどうさんだけでなくりんごも共感できる部分があったようで、跳び箱の練習をしている時に思わず口ずさんだりしていました。ぶどうさん自身も、運動会が近づくにつれ練習中に口ずさむことが多くなっていました。

全クラス集まって歌を歌うときは、各クラスの歌を歌うのですが、どのクラスの歌もすぐに覚えていた子どもたち。運動会当日も、小さいクラスのお友だちを歌って応援してくれていました。

## ○手指活動 ～みんなで力を合わせて作ろう～



積み木あそびでは「お城を作ろうよ」「僕たちはピタゴラスイッチ作ろう」「長い道路も作ろうよ」と壊れないように、慎重に力を合わせて積み木を積んでいました。「もっと積み木を持って来ないと、先生積み木が足りないから持ってきていい？」と重たい積み木を自分たちで運ぶ姿のたくましさ。それからどこに置いたら高く積めるか、同じ形の積み木を選び取り積んだり、届かなかったら椅子を持ってきて積んだり、どうやったら円柱の積み木が転げるか、長い積み木は角度をつけておいたり、自分たちで考えて積み木を積んでいました。出来上がると「先生みて、私たちより背が高いよ」「大きいのができた」「先生このピタゴラスイッチすごいよ、ほらこんなに転げる」と嬉しそうに報告する姿が素敵でした。みんなで1つの事を取り組む力がついたりんご・ぶどう組の子どもたち。積み木でもこの力を発揮していました。



## 折り紙 きのご作り



秋といえば、きのご!!ぶどう組の子が中心となり、りんご組のみんなにきのごの折り方を教えてくれました。折り方を言葉だけで教えるのが難しいと感じた子どもたち。自分たちも折りながら教えることで、しっかりと折り方を伝えられたようです。全員一度折ると覚えてしまうので、何個も折って折る楽しさを味わっているようでした。本当子どもたちの力は凄いです!!素晴らしい力をもっています!!

## ～小さいこのお世話は大変!～



くるみさんからまつぼっくりさんとの異年齢交流をするぶどうさんやりんごさん。お世話の仕方も春や夏に比べると上手になってきました。まつぼっくりさんでは、4チームに分けてあるので各チームのリーダーとしてりんごさんが入るので、お兄さんお姉さんになった気分で張り切ってくれます。また、あんずさんやどんぐりさんに入ったぶどうさんは、「どんぐりさん教えてやったのにいつも泣く」「あんずさん言うこときいてくれない」と言う子に、「自分でしたいからせんでって言うてるんじゃないのかな?せんでって言えないから泣くと思う」と言っていたり、くるみさんにはいったぶどうさんのお世話の仕方を見ていると、動き回るくるみさんに「うごかす～」と言いながらも、パンツやズボンをはかせてくれたり、トイレへ連れて行ってくれたりしていました。「みんなが小さい時もこうだったんだよ」と言われると、「えー」と言いながらも、微笑んでいるりんごさんやぶどうさん。自分より年下の子どもたちに直接関わり、世話をしたりあそんだり教えたりすることを通して、小さい子供たちへの理解を深めながら自律の力を養い、年下の子ども達と様々な応答を通して、人のためにすることの快さ喜びを実感し、年上としての自覚・誇りをより確かなものにしていきます。

## ○絵本「くろずみ小太郎旅日記」ごっこの取り組み

### アメフラシがやってきた!!

田上小学校で忍術の修行ごっこを終え、保育園に帰ってくると、廊下や部屋に紫色の液体が床に落ちていました。「あれ、なんかついてる」「なんか紫色のがついてるね」「紫いろ」



「先生これアメフラシの汁だ!」「きっとアメフラシが来たんだよ」「みんなアメフラシの汁が落ちているけん、踏まんでよ」「きをつけんばんばい「大変だ、みんなにも教えないと」「どんぐりさん、下にはこないほうがいいよ、アメフラシの汁がおちているけん、絶対降りてこないでね」「給食先生にも言わなきゃ」「園長先生にも!」と各部屋に報告をしに行き、みんなに伝えていました。

部屋には手紙が置いてあり、「みんなの大事なものを奪っていく。くろずみ小太郎に合わせたくないからな」と書いてありました。



「この字の色も紫だ。アメフラシが書いたんだ」「大事なもの…あーシールが無い!!」「小太郎シールが全部ない!!」「みんなの忍術表なんにもなくなっちゃてる」

「アメフラシが持って行っちゃったんだ」と肩を落とす子どもたち。「これ触らない方がいいよ、アメフラシになるよ」と手紙まで恐れていました。

それから、これからどうしたらいいかの話し合いをしました。

「ねえ、みんな手紙をかくのはどう?」「あめふらしさんもう保育園にこないで下さい」「こたろうに頼むのはどう?」「小太郎かわいいね」「でもアメフラシは悪いやつだいいけん、約束守ってくれんかも」「僕たちも力が足りない」「もっと力をつけないと」「修行をしないと」「でもお昼寝の時とかくるみさんに来たらどうする」「うん紫色のしるをつけていかしたら大変」「やっぱり修行しないと」「アメフラシにはもう汁を落とさないで下さいって頼まないと」「それからシールを返して下さいってたのまなきゃ」「よし決まり!手紙を書こう」こんな風に話しが進みました。それから、修行の日々を重ねていった子どもたちです。

## 小太郎シールを取り戻したよ!!

ある日のお昼寝後、休憩を終え、りんご組さんよりも先に自分た



ちの部屋に戻った子どもたち。バタバタと足音が聞こえました。そして急いでまっぼっくりの部屋に入りってきた子どもたち。  
「先生、シールが シールが戻ってきました！」

「アメフラシが部屋に来たみたい！」

「ばらまいてある」

「返してくれたよ」と大きな声で報告したのもですから、まだ寝ぼけまなこのりんご組の子どもたちも跳び起き、急いでりんぶさんの部屋に行きました。「やったー!!」と大喜びの子どもたち。ちょっと落ち着いたところに「本当にシールがばらまいてある」

「気をつけて、紫色の汁がついてる」

「これ破れてる」

「ひどい…」「でもアメフラシさん、約束守ってくれたね」

「本当はいい奴だったのかな」と思い思いに話していました。

「良かった～これで小太郎に会える！」

「今日跳び箱が出来たから返してくれたのかな」

「うん、だって手紙に、シールを返して下さい。跳び箱と鉄棒とうんていを見て下さい！って書いたもん」

「そうそう、だから返してくれたのかな」

「戸板も頑張ったもんね」

「うん出来たもん」と自分たちが頑張ってきた事を振り返り、きつと〇〇だから返してくれたんだ…とじわじわとまた嬉しさがこみ上げてきているようでした。

無事アメフラシから小太郎シールを取り戻した子どもたちでした。

## くろずみ小太郎にやっと会えた!!

見せ合いっこの日には、忍者の修行を始める前に「くろずみ小太郎さん」と呼んでみましたが、何の返答もありません。もう一度呼んでみると、笛の音が…絵本の笛を吹いている場面を想像した子どもたち。

「もしかしてくろずみ小太郎さんかも！」

「見に来てくれたんだ」と何か核心した子どもたち。その後の修行はいつも以上に力を出し、張り切っていました。そして忍術の修行を終えようとした所、また笛の音が聞こえました。みんなで集まり

「くろずみ小太郎さんかも」

「きつとくるんだ」

「あっちの山かな」

「お山の方に旗が見えたもん!!」と探していると…



「先生後ろ！」と振り返るとくろずみ小太郎が忍者走りで走ってきてくれました。びっくりした子どもたちでしたが、とっても嬉しそうでした。そして最後に告げられた修行もみんな張り切って取り組み、皆が頑張っている事を認めてくれて、忍術の力が

でる「忍」と書かれた額当てをもらいました。子どもたちも本当に嬉しそうで、大きな声でお礼を言っていました。子どもたちは、自分も課題を乗り越えながら、また、友達が失敗しても「大丈夫」と励ましたり、「こうしたらいいよ」とアドバイスしながら皆で支え合って乗り越えてきました。運動会の日にもう一度会いにきてくれ小太郎の為に帰りのバスでも「小太郎のシールが集まったから会いに来てくれたんだ」「もっともっと忍術の修行をしないといけないね」「でもまだ巻物のシールもあるから頑張ろう」「後3日寝たら運動会だから、もっと修行しないと」「今日はゆうやくんがお休みだったから、先生教えないと」「額当てもらったよって電話してね」とお休みのお友だちの事の事を思いやり、新たに決意していた子どもたちでした。

運動会の日、くろずみ小太郎に会えることを楽しみにしていた子どもたちでした。



## ☆運動会を終えて



運動会を終えてもまだまだ挑戦しようという意欲があふれている子どもたちです。「まだ竹馬高くしたい」「お家に持って帰りたい」「木馬横歩きも出来るよ」「ジャンプだって出来るもん」「先生見てた!!こんなに出来るようになった!!」と自分の力がどんどんついている事に喜びを感じている子どもたちです。

そんな子どもたちに、「みんな立派な忍者になったんだから、ここに頑張ってきた印と立派な忍者だよって言う印をつけない??」と投げかけると「印ってなに??」「僕たちが忍者だよって事だよね」「どうやってするの??」と疑問がわいてきたようです。

「うん、名前とかあと手形とかだったら印になるかな～って思っ



たの」というとどンドン意欲も沸き起こり「手形!!いいね、手形したい!!」「絵具つけるの??」「違うよ、ほらペッタンってするスタンプだよ」「あーあれね!!」と話がどンドン盛り上がりしました。

そこで、水色、オレンジ色、ピンク色、黄緑色のスタンプを用意すると「私ピンクがいい可愛いもん」「オレンジがいいな、太陽みたいな色だもん」「水色もかっこいい」「黄緑だっかってかっこいいよ」と自分たちで色を選び、手形を押してごっこ遊びを締めくくりました。みんなの手形を押し終え、じーっと忍術表を眺める子どもたち。「忍者になったもんね」「忍術の修行いっぱい頑張ったもんね」「うん頑張ったもん」とつぶやく姿に感無量といった気持ちがお沸き起こったのではないかなと感じました。



「子どもの心とつながる」という理念のもと、子どもたちが今何を思い、どんな風に取り組みたいのかという事を考えながら運動遊具、ごっこあそびを取り組ませて頂きました。運動遊具では、子どもたちの方から「先生〇〇が出来るようになりたい」「〇〇が出来なかったからもっと練習しないと」「忍術の修行家でもしてきたよ」など子どもたちの思いをたくさん聞いてきました。運動遊具の取り組みでは、きつと葛藤した事もあったかと思えます。だけど最後まで諦めない。出来るようになるまでコツコツとひたむきに取り組む姿に、私たちも子どもたちの願いを叶えてあげたい。そんな気持ちになりました。子どもと保育士の思いが繋がったように思えます。運動会が近づくにつれて、自分も葛藤しました。何とか出来るようになりたい子どもたちの願いを叶えてあげたいけど、練習しても成果が表れなかったり、お休みの子がいると、本当に大丈夫かと揺れました。だけど、子どもたちの諦めない、出来るようになりたいという姿を見るたびに、原点に戻され、私たちも1人ひとりにあった、手立てややり方を伝える中で、子どもたちと同じように出来るまで、しっかり寄り添い、諦めない。この精神で取り組めたように思えます。このクラスの良さは、子ども同士も「いっぱい練習してきたから大丈夫」「次は出来るよ」と友だちと支え、励ましてくれた事です。出来たら我が事のように喜び会う姿は、子どもと子どもが繋がった瞬間ではないかと思えます。また運動会後半は、様々な先生方に入って頂き、力と知恵を頂きました。様々な職員と子どもたちが繋がり、子どもたちも自分の持っている力を引き出して頂けたように思えます。

運動会でも、子どもたちが挑戦する気持ちを見せられたのではないかと思います。子どもたちは課題が出来るようになって、

新たな課題に向かっていました。「跳び箱5段用意して」「跳び箱6段もやりたい」「まだ出来ないけど、運動会でもやってみる」次への目標に向かって、ひたむきに取り組み、出来る・出来ないというものを越えて、子どもが挑戦する心意気を運動会当日も見せてくれたように思います。子どもは常に前を向いて進んでいたように思います。

ごっこあそびで遊びを共有した事、リレーでの話し合い、運動遊具での教え合い、出来たら皆に伝えて、皆で喜ぶそんな経験をしてきた子どもたちは、子ども同士が以前より近くなってきたと思います。子どもと子どもが繋がっていたからだと思います。リレーでは白熱した応援、泣いてしまった友だちに、優しく声をかけ、支えてくれる姿も見られ私も感動をもらいました。いい仲間関係がもてるようになってきたことを実感しています。生活面でも、班別当番活動を行い、自分たちで考えて自分たちの生活を自分たちで創りだせるようにした事で、自分にも役割があり、1人ひとりがしっかり意識して過ごしていく事で集団として1人はみんなの為に、皆はひとりの為にと集団力が高まっていったと思います。それもやはり、運動遊具で出来た自信が大きく関わっているのではないかと思います。話し合いでも普段は意見が少ない子が意見を言ったり、発表の場でも堂々としていたり、色々な面で子どもたちが伸びたように思います。

保護者の皆様には子ども達を温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。また、前日の準備、当日の片づけまで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## ○描画

### 山田 ほのかさん 6歳

「運動会楽しかった。忍者の修行一番楽しかった。跳び箱とかは跳べたけど登り棒が難しかった、でも頑張って練習したから出来るようになった。頑張ったから頑張り豆も出来た。小太郎とこはるから忍者認定証をもえたのが嬉しかった。頑張って良かった。」



### 山本 いぶきくん 5歳10ヶ月

「太鼓の練習楽しかったけどきつい時もあった。でもちゃんとふざけたりせずに頑張った。運動会ではみんなに見てもら



ってドキドキした。みんな見ててはずかしくて、なんか笑いそうになったけど

我慢した。太鼓が終わったらお母さんが拍手しててすごくうれしかった。保育園の運動会1番大好き」

### 西山 よしかさん 6歳1ヶ月

「跳び箱と登り棒、逆上がり、うんていをしている所。最後まで頑張ってきた事を書いた。絶対出来るって思って頑張ってきた。出来るようになって嬉しかった。くろずみ小太郎さんも田上小学校の中に来て、巻物を渡さした。忍って書いてあって立派な忍者になったて書いてあったからすごく嬉しかった。運動会楽しかった」



### 本田 さらさん 5歳7ヶ月

「みんな泣いとらしたけん、嬉しかった。パーンって鳴らしたら耳に響いた。お父さんが頑張ったねとお母さんが感動したって言ってやらしした。名前を呼ばれた時はドキドキした。退場する時れんくんがいっぱい写真とってやらしした。運動会楽しかった最後だったけんお母さんがおいしいご飯一杯作ってやらしした。頑張り豆も出来たもん」



### 成松こうくん 5歳5ヶ月

「跳び箱5段跳べたから嬉しかった。前まで跳べなかったけど、4段も頑張って跳べるようになった。掛けっこでは転んだから悲しかった。1番になりたかった。頑張りたかったから最後まで頑張ったよ」



### 山口 りみさん 5歳4ヶ月

「くろずみ小太郎が巻物やらししたのが嬉しかった。お父さんとお母さんが見てくれたのが嬉しかった。跳び箱5段跳べたのも嬉しかった。恥ずかしかつたけど頑張った！力をつけたから恥ずかし



くないようにしたよ」

### 東 けいとくん 4歳10ヶ月

「お母さんが来たのが嬉しかった。運動会楽しみだった。戸板も頑張って鉄棒の前回りと跳び箱も、跳び箱5段跳んでみたかったけどぶどうさんになってから跳ぶ。くろずみ小太郎から巻物もらって嬉しかった。立派な忍者って言われて嬉しかった」



## ○ぶどう組 運動会一体画

ぶどう組さん、みんなで一体画を描こうと思っているんだけど、みんなはどう思う？と尋ねると「一体画って何？」「どんなの？」

と質問があったので、みんなで大きな1つの紙に絵を描くのと教えると「あー前のぶどう組さんが書いてた!!」「絵具使ってたね」「やりたい！やりたい！」という事でどんな絵にするか話し合いをしました。「跳び箱している所と戸板」「あー大縄も」「竹馬、縄跳びと棒登りも」「逆上がりも描きたい」「太鼓もね」「くろずみ小太郎とこはるも描きたい」「リズムもだてて波がんばったもんね」とたくさん描きたい事にあふれていた子どもたち。子どもの気持ちをくみ取って、全部描く事にしました！



「どうやって描いたらいいかな…」「分からなくなっちゃた」と言っている子どもたちでしたが、絵の得意な友だちに描き方を教えてもらい、縁どりは折り紙でちぎり絵をするように囲みました。子どもたちもすごい集中力で、力を合わせ見事完成させる事が出来ました。出来上がった時は「やったー自分たちで描いたー」と跳びはねて喜んでいました。子どもたちの思いがたくさん詰まっている一体画です。素敵な作品に仕上がりました。

